

## 健常脳のデータベース構築

# —「漢字書字障害特異的脳内機能ネットワークの解明と治療法開発」にご協力いただいた皆さまへ研究計画の追加に関するお知らせとお願い—

「漢字書字障害特異的脳内機能ネットワークの解明と治療法開発」へのご協力ありがとうございました。このたび以下の研究へご協力をお願いしたく、研究計画の一部について追加・変更申請を行いましたので、説明を申し上げます。本研究への協力を望まれない場合は、問い合わせ窓口へご連絡ください。なお、研究に協力されない場合におきましても不利益を生じる扱いを受けることは一切ございません。

本研究の研究計画書及び研究の方法に関する資料の入手又は閲覧をご希望の場合や個人情報の開示や個人情報の利用目的についての通知をご希望の場合も問い合わせ窓口にご照会ください。なお、他の研究参加者の個人情報や研究者の知的財産の保護などの理由により、ご対応・ご回答ができない場合がありますので、予めご了承ください。

【研究計画名】 健常脳のデータベース構築

【研究責任者】 国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター 脳病態統合イメージングセンター 先進脳画像研究部 花川 隆

### 【本研究の目的及び意義】

現在、様々な精神・神経疾患に関して、脳の構造や機能という観点からの理解が急速に進んでいますが、その疾患ごとの特徴をより正確に理解するためには、特定の精神・神経疾患を持つ患者さまの脳と、それらの疾患を持っていない健常者さまの脳を比較することが必要不可欠です。従って、健常者さまの脳画像データは、さまざまな疾患を対象にしている研究で共通して必要な研究データであるため、各研究が共有して用いることができると、非常に経済的で効率的に研究を推進することができます。しかし、現時点では、各研究で共通に用いることができる健常者さまの脳画像のデータベースがなく、研究ごとに疾患を持つ患者さまの脳画像と、それらの疾患を持っていない健常者さまの脳画像を新たに撮像して研究を実施しております。そこで、本研究事業では、さまざまな疾患を対象にした研究を推進する上で共通して使用することができる、健常者さまの脳画像のデータベースを構築することを目的としています。

### 【本研究の実施方法及び参加いただく期間】

#### 対象となる方

2018年6月1日～2019年5月31日までの間に、国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター病院で「漢字書字障害特異的脳内機能ネットワークの解明と治療法開発」の研究に参加された方

#### 追加する研究計画の概要

取得させていただいたMRIデータ、神経心理学検査は完全に個人を識別できないようにした上で、さまざまな疾患を対象にした研究を推進する上で共通して使用することができる、健常者さまの脳

画像のデータベースを構築するために利用させていただくことを追加します。

なお、新たに付された符号との対応表を残さない匿名化により、完全に個人を識別できないようにした上で、国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター（NCNP）脳病態統合イメージングセンター（IBIC）IBISS ないしこれが指定する機関によって管理と運営が実施されるデータベースに登録されます。

#### 研究期間

2018年08月03日から2024年3月31日まで

#### 【共同研究機関】

京都大学 大学院 医学系研究科 高橋 英彦  
国際電気通信基礎技術研究所 川人 光男

2019年7月

#### ○問い合わせ窓口

〒187-8553

東京都小平市小川東町四丁目1番1号

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所

電話番号 042-341-2711 内線番号 6274

所属・職名 知的・発達障害研究部・室長 氏名 加賀佳美

e-mail: yoshi3st※ncnp.go.jp (「※」を「@」に変更ください。)

#### ○苦情窓口

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター倫理委員会事務局

e-mail: ml\_rinrijimu※ncnp.go.jp (「※」を「@」に変更ください。)